

EA514BE-35(フエルトンジェクションプレッシャーテスター)取扱説明書

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

テスト前のシステムチェック

以下の基本的点検を行ってください。そして燃料システムのテストを行う前に支障を探知しなおしてください。

燃料システム

- 燃料ライン(金属或はラバー)の破損や緩みを点検してください。
- 燃料タンクには十分に燃料があることを確認してください。(燃料ゲージをあてにせず)
- 燃料内の水や他の混入物を点検してください。
- ヒューズにかかわる燃料システムのコンディションを点検してください。
- 燃料タンクの通気システムのコンディションを点検してください。
- 燃料タンクのフィルターキャップを点検してください。

電気システム

- エンジンがスタートしない時はテストプラグを使用してイグニッションスパークを点検してください。点火しない時はイグニッションシステムを修理してください。イグニッションは大部分のインジェクションシステムのインジェクターを発動しますので、スパークプラグが点火しない時は、インジェクターも発動しません。
- エンジンランプや他のコンピューターインジェクターの不良を点検してください。
- イグニッションワイヤーの破損、接続不良、アーク等を点検してください。
- ディストリビューターのキャップやローターの緩みや腐蝕を点検してください。
- グラウンドコンボの緩みや腐蝕を点検してください。
- エレクトリックコンボの接続不良を点検してください。

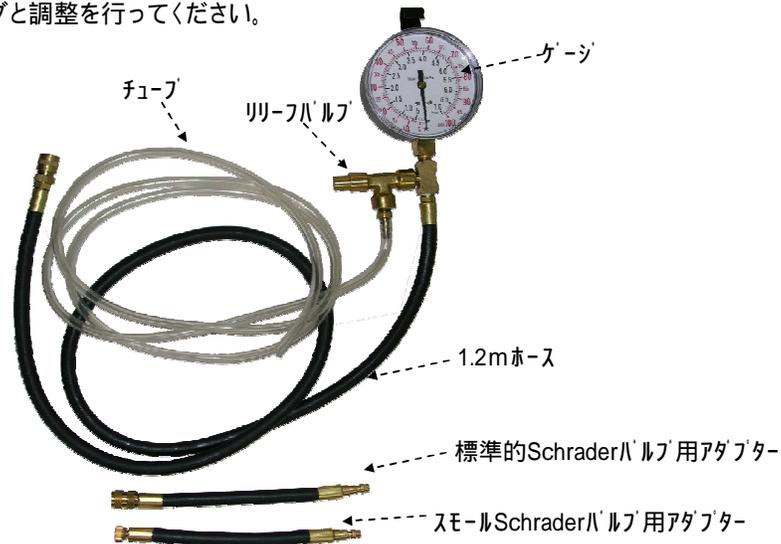
バッテリー & 充電システム

- バッテリーの状態を点検してください。弱ったバッテリーは適切なポンプデリバリーやインジェクター始動が確実にできません。
- 充電システムの基本操作を点検してください。
- バッテリーケーブルの緩みや腐蝕を点検してください。

その他

- バキュームラインの緩みやラインの接続不良を点検してください。
- 水漏れを点検してください。
- 過度のオイル漏れを点検してください。
- 空気漏れ、非常のノイズ、燃料ポンプのブンブンという音、エンジンのガタガタ音やノックを耳で聞いて確認してください。
- バルブタイミングと調整を行ってください。

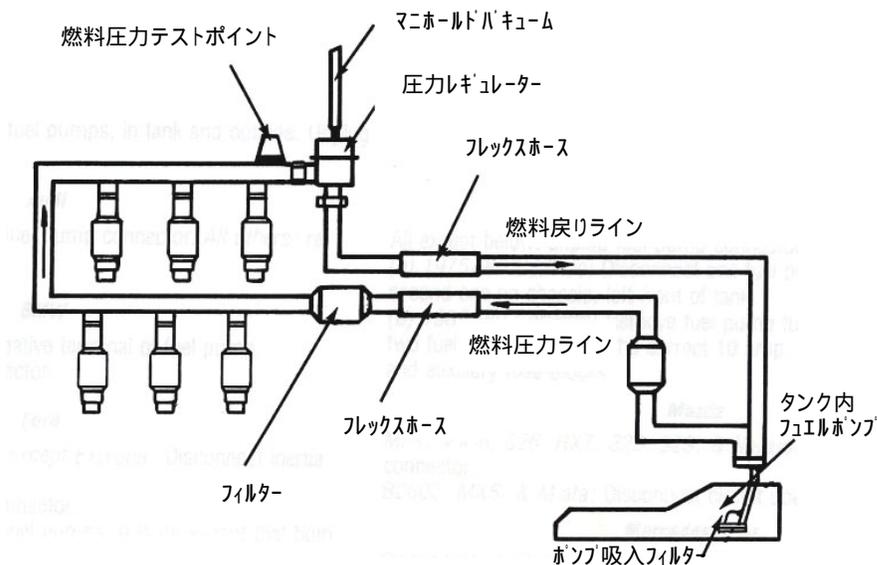
各部名称



フュエルインジェクション 圧力テスト

全ての圧力テストはアイドル時にシステムの高圧側で行ってください。

1. エンジンを切ります。燃料圧力ポート(Schrader Valve)と、燃料圧力ゲージを取り付けます。もし、Schrader Valveが装備されていないときはシステムはオープンにしなければなりません。フィッティングを取り付ける前に残圧を解除しガソリンが霧状に吹くのを防止するために緩めないで、人身事故や火災につながります。(別項参照)適切なアダプターを選択しテスターを接続します。フィッティングを緩める前に常にショッパタオルで包んでください。
2. - - -
3. 適切なアダプターを使用してゲージを取り付けます。エンジンをスタートさせ漏れを点検します。漏れがない時はゲージを確認してください。圧力は操作圧力よりわずかに上がります。それから操作圧力に安定します(メーカーの仕様を参照)。
4. エンジンをスタートさせます。もし、調整式フュエルプレッシャーレギュレーターを使っている時は、圧力は操作中は一定に保ってください。もし、補償式フュエルプレッシャーレギュレーターを使用している時は、マニホールドバキュームにより、約8~9PSI圧力が低下します。
5. リターン側のフレキシブルホースに位置どり、短く戻りのフローをしずかに絞ります。スチール製編みホースは絞らないでください。
注意: ある種のモデルはこのテストでダメージを被ります。仕様書に推奨がなければこのテストは行わないでください。
デッドエンドの圧力が急速に増加することを観察します。
注意: 圧力は75PSIを超えるので緩いフィッティングや不備のあるラインは漏れる可能性があります。このテストを行う前にシステムの状態を観察してください。
6. もし圧力が許容し得る状況なら仕様書によってはフローテストを行います。その時はフュエルシステムを開いて目盛り付きのプラスチックコンテナに受け、フローレートを観察します。(例 0.47ℓ/15秒) システムを閉じます。
7. エンジンを切り残圧を観察します。仕様書によっては最小保持タイムが書かれています。
8. インジェクターバルブテスターと連携する時は、エンジンをかけ、圧力とインジェクターのバルブを観察し圧力降下を観察します。エンジンを切り、次のインジェクターにテスターを移します。エンジンをかけ圧力とインジェクターのバルブを観察します。エンジンを切ります。残りのインジェクターを同様にします。
注意: このテストはメーカーの仕様書にすすめる以上に繰り返さないでください。
エンジンをオーバーフローします。
9. フュエルポンプを非活性にし必要に応じてフルシステムを放圧します。エンジンを切り、燃料缶に抜き取りチューブを差し込み抜き取りバルブを押します。お手持ちのテスターに抜き取りバルブ組品がない場合は、接続部に布を巻きゆっくりと開放します。
10. テスターを取り外し全てのラインを接続し直します。
11. エンジンをかけ漏れを点検します。
12. 全てのホースから燃料を抜き取ります。もし、ゲージとホースの組品内に燃料が残っている時はクイックカプラーに最小のbanjoホルトアダプターをつけてフュエルコンテナに接続します。ホースの上にゲージをもちフュエル缶に流し込みます。



燃料システム圧力の解除

1. たばこを吸わないでください。
2. 保護メガネを着用してください。
3. 常に消火器を準備してください。
4. エンジンを切ってガスキャップを解除します。
5. 燃料ポンプを使用できないよう(不履行)にします。(下記参照)
6. ある車種ではフュエルポンプヒューズを外すことで不履行を満足させるものもあります。しかし、他の車種ではヒューズを外すとフュエルインジェクターやイグニッションシステムを不履行にしますので他の不履行にする方法を使ってください。
7. ある車種は2つのフュエルポンプをもち下記のチャートに適しないことがあります。両方を不履行にしてください。
8. キーを回してエンジンをかけスターとさせます。
9. エンストするまでエンジンを動かします。
10. 3～5秒して再度エンジンをかけます。
11. エンジンを切ります。

(参考)

・フュエルポンプを外すタイプ

Acura	Daihatsu	Geo	Jaguar	Peugeot	Saab	Toyota
Alfa Romeo	Honda	Jeep	Porsche	Sterling	Triumph	
AMC	Eagle	Hyundai	Mitubishi	Renault	Subaru	Volkswagen
Chrysler	Fiat	Isuzu	Nissan/Datsun	Suzuki	Volvo	

モデルにより2つのフュエルポンプをもちます。両方とも外します。

・他の方法

Audi	Coupe&V8:フュエルポンプコネクターからプラグを外す。 他車種:フュエルポンプリレーを外す。
BMW	～1990年:ポンプの-極を外す。 1991年:フュエルポンプコネクターからプラグを外す。
Ford	車、バン、イクスプローラーを除く実用車:インテリアスイッチを外す。 イクスプローラー:フュエルポンプコネクターからプラグを外す。 車種によりフュエルポンプが2個ついているものが有ります。ポンプは2つとも不履行にしてください。
GM	以下を除く全て:フュエルポンプコネクターからプラグを外す。 (a)1975-80 cadillac...ガスタクのフュエルポンプと、タンクの左前、シャシに有るフュエルポンプを外す。 (b)1986-89Corvette...フュエルポンプが1つならフュエルポンプヒューズを外す。ポンプが2つならメインと予備のフューズブロックの10アンペアヒューズを外す。
Mazda	MPV,MX-6,626,RX7,323,929,Navajo:フュエルポンプコネクターからプラグを外す。 B2600,MX5,Miata:サーキットオープニングリレーのコネクターを外す。
Mercedes-Benz	フュエルポンプコネクターの-極を外す。

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3 - 8 - 14

TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929